

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立馬込小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・日常生活の問題点や違和感に気付く力はついてきているが、課題設定にはまだ不十分である。
- ・家庭科の学習と自分の家庭生活に関連付けて考えることができるようになった。
- ・家庭科の学習を家庭で実践する意欲がある。

(2) 課題

- ・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定する力がまだ不十分である。
- ・学習したことを家庭での実践で生かそうとする意欲はあるが、継続的な活動にはなっていない。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基本的な知識・技能の定着のために、長期休養中の家庭での実践課題に全員取り組ませる。 ・ICT 機器を積極的に活用し、視覚で学んだり、繰り返し学習したりすることで、知識及び技能の定着を図る。 ・学んだ基礎技能を使って作品を作ること、実践的な技能の定着を図る。	・問題解決的な学習、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることのできるように、自分の家庭生活に関連付けられるような授業を展開する。 ・調理、製作等の実習や観察、実験など、それぞれの特徴を生かした実践的・体験的な活動を充実させることで、家庭生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育てる。	・「家庭科だより」や保護者会等を通じて家庭に情報を提供したり協力を呼び掛けたりする。 ・導入を工夫し、学びを自分事としてとらえられるような場や課題を設定し、主体的に取り組む機会につなげる。